

平成19年度 県立神栖高等学校自己評価結果

目指す 学校像	1 「身を正し、場を清め、心を磨く」を共通目標として愛情を基盤とした教育活動を実践する学校。 2 確かな学力と人間力の育成を図り、生徒一人一人の進路希望を実現することにより地域から信頼され選ばれる学校。 3 情操と自尊感情の陶冶に努め次世代を担う心豊かな人間を育成する学校。 4 特別活動を活性化し特色ある学校教育を推進し、生徒一人一人の個性と自立心の伸長を図る学校。		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>共通実践目標のもと、全教職員で取り組んだ結果、校内環境美化もすみ生徒の服装・頭髪にも改善がみられるようになった。学校全体が落ち着きを取り戻し、地域からの評価と信頼を回復しつつある。</p>	<p>愛情を基盤とする教育活動の実践 (基本的生活習慣の確立)</p>	<p>常習的な授業への遅刻者に対して特別指導を行い、指導記録簿を活用し遅刻者を10%未満にする。 登校指導や巡回指導を継続して行い、頭髪・服装・挨拶・言葉遣い等マナー指導を徹底する。 交通講話やLHR、交通安全委員会の活性化等を通して、交通安全やマナーに対する意識を啓発する。</p>	B
<p>道徳教育研究指定校として2年間「豊かな心の教育」に全校あげて取り組み、ふれあい交流など体験活動を充実させた結果、一定の成果をあげることができた。</p>	<p>確かな学力と人間力の育成 (進路希望の実現)</p>	<p>進路希望状況を定期的に把握し、適切な情報を与えることにより、自己実現を目指して自ら学ぼうとする意欲を育成する。家庭学習時間0時間の生徒72%を半減させる。 授業時間の確保に努め、チャイムと同時に授業開始・終了を徹底する。</p>	B
<p>進路指導に関しては、進学において4年制大学合格者決定率94%、短大と専門学校決定率100%、就職においては内定率が93%と近年にない良い結果となった。</p>		<p>SHRで「ステップアップチャレンジ」(ドリル)を行い集中力と計算力などを訓練する。 学校設定科目でのトリプルティーチング(1クラス3人で指導)や少人数授業を効果的に機能させる。資格取得を奨励する。 授業公開や授業研究に取り組み、指導方法の工夫・改善を図る研修を深めるなど教員の資質と指導力の向上に努める。 課題や小テストを計画的に与え、学習の習慣化を図り、授業や家庭学習に自ら取り組む姿勢を育成する。</p>	
<p>生徒の自主・自立の精神を重んじ支援した結果、文化祭や予餞会などが主体的に運営され成功した。</p>	<p>情操と自尊感情の陶冶 (豊かな心をはぐくむ教育の推進)</p>	<p>「声かけ・面談・家庭訪問」を積極的に行い、生徒や保護者との密なコミュニケーションの構築に努め、転退学者数を半減させる。 LHRや「道徳」等の指導を通して「自己の在り方生き方を」考えさせる。 インターンシップと「ふれあい交流体験学習」の日数を増やし更に充実させる。 小文化祭、芸術鑑賞会、「親子で聴く教育講演会」等、感動体験の実施と充実にも努める。</p>	A
<p>しかし全体的に遅刻・欠席過多や学業不適應などに起因する中途転退学者が多いなど残された課題は多い。</p>		<p>スクールカウンセラー等を積極的に活用し「心の居場所」となる学校づくりに努める。</p>	
<p>生徒の規範意識や公德心の更なる高揚を図り「豊かな心の教育」を継続して推進していかねばならない。また生徒の進路実現を図るためにも、学校生活を充実したものとすためにも学習習慣の涵養と基礎学力の向上は今後教職員が一丸となって対処しなければならない最重点課題である。</p>	<p>特別活動の活性化と充実 (HR活動・部活動等の推進)</p>	<p>部活動紹介を通して文化系・体育系の入部勧誘を進め、18年度より10%アップさせる。 LHRでホームルーム活動資料集等を活用し豊かな心の教育を充実させる。</p>	
		<p>生徒会が中心となり、各種委員会活動や福祉活動を活性化する。 姉妹校交流20周年事業を成功させ、国際理解教育の推進に努める。 学校行事等を積極的に公表し、地域に開かれた学校づくりを目指す。</p>	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題		
教科指導	基礎学力の向上を図り、学ぶ意欲を育てる。	指導法を工夫・改善して、生徒にとってわかりやすい授業を展開し、「学ぶ喜び」を味わわせることによって学ぶ意欲を育てる。	C	C	わかりやすい授業を計画的・継続的に展開させる必要がある。	
教 科	国 語	授業に意欲・関心を持たせる。	授業用具の準備や授業における態度をきちんと明示し、毅然とした態度で授業をおこなう。	A	B	教科書教材の内容把握については指導の改善・工夫が必要である。豊かな心を育む授業については検証できるような授業展開が課題である。
		国語における基礎学力を確かなものとする。	漢字・熟語などの読み書きを基本として、教科書本文についてきちんと音読し、内容を正しくつかめるようにする。	B		
		教材をとおして豊かな人間性を育むような授業をおこなう。	授業公開や授業研究に取り組み、指導の工夫改善を積極的に行う。	A		
	物語や小説教材をとおして豊かな心を育む授業を工夫する。		B			
	地 歴 公 民	学習意欲の向上に努める。	学習用具の準備や時間厳守を徹底し、授業に集中する姿勢を培う。	C	B	視聴覚教材を積極的に活用する。演習ノート等をこまめに活用する。
		基礎学力の向上に努める。	ノートやプリントなどを定期的に提出させ、学習状況を確認する。	B		
			問題集や小テストを有効的に活用し、学習内容の確認・定着に努める。	C		
		興味・関心を高める授業の展開に努める。	授業内容に即した資料を提示することで授業への興味、関心及び学習内容の理解度を高める。教材研究の工夫と情報交換により、わかりやすい教材を提示し授業実践に活かす。	B		
	数 学	基礎学力の向上を図る。	少人数授業やチームティーチングによるきめ細かな指導を行う。	A	A	チームティーチングの授業を来年度も引き続き活用していきたい。
		家庭学習の習慣を定着させる。	ノートなど授業の記録となるものを定期的に提出させ、学習状況を確認する。	A		
			基本計算の練習を行い、計算力の向上を図る。 定期的に課題を出題し、家庭学習の習慣を付ける	A B		
	理 科	基礎学力の向上を図る。	継続的に小テスト等を実施する。	B	B	実験室で生徒実験を行うのは現状では困難な面もある。教室での演習実験で対応したい。
			ノートやプリントなど授業の記録となるものを定期的に提出させ、学習状況を確認する。	B		
		興味・関心を育むため、効果的に実験を実施する。	各科目とも年間に授業単位数以上の実験を行う。 年間2回、教員の実験研修会を行う。	D A		
	保 健 体 育	規律ある集団行動の徹底を図る。	時間厳守を徹底し時間内に着席・体育館への移動・着替えをすませる。 学校指定体育着の着用・制服の着用など運動・学習にふさわしい服装を心がける。	B B	B	授業に遅刻する者や服装が整っていない者に対する指導を工夫したい。
		学習意欲の向上を図る。	協力して積極的に取り組む姿勢を育成する。	A		
			学力・体力の向上を目指す。	B		
	音 楽	音楽への興味・関心を高める。	生徒の興味ある素材を教材として取り込み、授業を展開する。	A	A	全員参加の授業を展開するとともに、教科書の教材をもう少し導入したい。
音楽能力の向上を図る。		少人数授業によりきめ細かく指導し、授業をすすめる。	A			
		定期的に小テストを実施する。	B			

教科	書道	書道に親しむ。	自分の書体や書風を理解して、古典に反映する。	B	B	反復練習が苦手な生徒が多く、集中する時間が少なかった。教材を工夫し集中力を持続させたい。
			古典の書体を参考にして、新しい自分の書体を発見する。	A		
			身近にある書体や、文字を探り積極的に書を工夫する。	A		
		書を楽しむ。	さまざまな文具、料紙、書材料を使用し自分らしさを表現する。	B		
	作品の鑑賞や評価を通して、書的な美意識を持つ。		C			
	外国語	基礎学力の向上を図る。	授業公開や授業研究に取り組み、指導工夫改善を図り、指導力を高める。	B		
			授業や家庭学習に自ら取り組む習慣づけを行う。	B		
			少人数指導や習熟度別指導で生徒一人ひとりの理解度に応じた指導を行う。	A		
		「わかる」授業展開のための工夫改善を図る。	小テストや課題提出などにより、各生徒の理解度を把握する。	B		
			英語及び異文化に対する興味・関心を高めるよう、授業の工夫改善を図る。	B		
			基礎的なことを反復学習させ、苦手意識を克服させる。	A		
	読む、聞く、話すスキルを修得させる。	ALTを効果的に活用し、実践的なコミュニケーションの場をつくる。	A			
		できる授業展開の工夫改善を図る。	A			
		定期的なALTの授業への配置を徹底する。	C			
	家庭	授業の正常化を図り意欲的に取り組ませよう努める。	授業を記録したノートを毎時間提出させ、学習状況を確認する。	A		
			始業時に、出欠・座席・教具（教科書・身支度等）を確認し、授業を受ける態勢・態度を定着させる。	A		
			授業終了後に指導内容を点検し、気づいた点を記録し、授業の改善に活かす。	A		
		興味・関心を高める。	評価基準を明確に提示して実習を行う。	A		
実習への意欲を高めるために、写真やビデオ、過去の作品などを多く提示する。	B					
情報	基礎学力の向上を図る	ノートやプリントを定期的に提出させ学習状況を確認する。	A			
		ネットワークを利用する上でのルールやマナーを理解し、守らせる。	B			
	授業への意欲を持続させる。	生徒の実態に応じた課題を与え適切に評価することにより、授業への意欲を持続させる。	B			
商業	基礎学力向上を図る。	授業時間の確保に努める。	B			
		生徒の基礎学力の向上のための取り組みを行う。	C			
	商業が好きになる授業を実施する。	授業内容や指導方法を点検し、授業の改善に努める。	B			
		生徒の取り組みを評価し、授業への意欲を持続させる。	C			

教 務	授業時間の確保に努める。	始業時間と授業時間を厳守する。	A	B	TT授業の増加など課題はあるが、常に授業時数確保に努める。ICT機器の活用を含め、職員研修の充実を図る。
		出張・年休等の際の授業交換の徹底を図り、学期毎に95%以上を確保する。	B		
	教科・科目の授業時間のバランスを図り、学校行事等が特定の曜日・時間に偏らないようにする。	A			
校内研修の充実に努める。	年間5回、人権、健康安全、学習、進路、生徒指導等の職員研修会を実施し、参加率90%以上とする。	B			
	学期に1回、校内授業週間を設定し、教員相互の研修の機会を計画・実施する。	C			
特別活動	生徒参加の生徒会運営を図る。	各種委員会の活性化を図る。	C	B	各種委員会を全体的に活動させる。「道徳」の時間と学校行事やHRとの調和のとれた関係を維持する。クラスマッチは連帯感を高めたので更に充実させる。
		部員確保と部活動の活性化に努める。	C		
		生徒会を中心にしたボランティア活動や広報活動を推進する。	B		
		代表者会議等の生徒の主体的な生徒会運営に努める。	B		
	HR活動の充実を図る。学校行事を通して所属意識を育成する。	HR年間計画と学校行事を精査する。	C		
		「道徳」を中心とした総合的学習の時間やHR活動を充実させる。クラスマッチや、発表会を通してクラスの連帯感を育成する。	A		
生徒指導	家庭との連携を密にして基本的生活習慣の確立に努める。	教員による毎日の登校指導と、毎月2回のPTA・市生涯学習課職員及び青少年相談員との連携した声掛け挨拶運動に、生徒会主体の活動を積極的に取り入れる。生徒指導通信を発行する。	B	B	生徒会を中心にした自主的な活動を定着させる必要がある。喫煙防止対策を徹底したい。
		遅刻の多い生徒への指導体制（担任 主任 生徒指導 家庭）を確立する。	B		
	危機管理能力を育成し、自他の命を大切にすることを育む。	登下校時に、学校周辺や通学路の巡回を実施する。	C		
		校外での喫煙防止のために巡視指導を徹底する。	A		
		防止教室等を適切に実施する。	A		
図書視聴覚	基礎学力向上のための読書の推進を図る。	生徒・職員の希望図書を購入し、「新着図書案内」を発行する。	B	C	自学自習の場として利用しやすい環境づくりに努める。
		校内における読書の推進を図るため、図書館報（年2回）及びライブラリーミニ（月1回）を作成、配付し、教室に掲示する。	B		
	自学学習を支援するための図書室の充実を図る。	図書室内の美化や図書の配置・整備を工夫し、利用しやすい図書館に整備する。生徒の自学自習の場として利用の促進を図るため、資料を充実をさせる。	C		
進路指導	生徒の主体的な進路選択の支援を積極的に行う。	4月、9月、1月に進路希望調査を実施し、希望動向を把握する。	A	A	基礎学力の向上につながる集中力・計算力を育てるSHRの工夫が課題である。
		進路意識高揚のため、進路講演会を各学年1回行う。また、2学年において体験授業を行う。	A		
		「進路だより」を隔月発行し、生徒・保護者に進路情報を提供する。	A		
	進学・就職指導の充実を図る。	進学に対応できる学力を育成するため、課外授業・学習合宿を放課後・長期休業時に実施する。	A		
		SHRを利用しドリルなどで集中力や計算力などを養うことに努める。	B		
	面接試験対策を3学年で2回行い、就職者としての言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	A			
保健厚生	学習環境を整備する。	校内美化の推進。ワックスかけ習慣を設定し校内美化を推進する。	B	B	環境美化の推進を図る。整備委員活動の充実を図る。
		ゴミの分別を徹底させる。	C		
	生徒、教職員の心身の健康の増進を図る。	保健室の効果的な運営に努め、担任と密に連絡を取り合う。保健委員会活動を活発にし、「保健だより」を発行する。	A		
渉 外	PTA活動を充実させ、家庭との連携を密にし、家庭の教育力の向上を図る。	PTA諸活動への参加率を高めるように工夫する。	B	A	PTA総会への出席率を高める工夫をする。
		PTAの広報活動の充実を図り、広報誌を年2回発行する。	A		
		保護者間の交流と親睦をはかるために、研修会の実施、支部独自の行事を年に数回実施する。	A		

国際教育	異文化理解とその前提となる自 国文化の理解に努める	姉妹校との交換留学制度を活用し、互いの言語・伝統・生活習慣等を尊重することで、文化の多様性を理解する。	A	B	留学関係以外のこと にも前向きに取り組む 校外の活動もできると ころから始める。
	国際的な視野や感覚を身につける。	英語指導助手との連携により、日常生活の中で、生きた語学力を身につける。 JICA等が主催する、国際交流のイベントに参加する。	B C		
	基本的な生活習慣の確立を図る。	月1回の頭髪服装指導を行い、規範意識の向上に努める。 登校指導やチャイム前入室の呼びかけを実施し、時間を守る意識を高める。 家庭との連絡を密にし、問題行動の未然防止及び改善に努める。	A A A		
第1学年	基礎学力の向上を図る。	授業時間の確保、チャイム前入室に努める。	A	A	修学旅行に向けて整 列、服装等生活習慣の 確立に努める。 進路指導の充実を図 る。 学習環境、特に教室 の美化に努める。
		家庭学習の習慣づけや、課外授業に積極的な参加を呼びかける。	B		
		学校設定科目、各種検定試験に積極的に取り組ませる。	A		
	進路指導を充実させる。	LHRや個別面談を通して、自分の進路についての関心を深めさせるとともに、それぞれの生徒にあった進路指導を行う。	A		
心の教育を充実させる。	「道徳」の時間を活用し社会の中での自己の在り方、生き方について深く考えさせる。	A			
第2学年	基礎学力の向上を図る。	課外授業・学習合宿・模擬試験を実施し、積極的な参加を呼びかける。	A	B	問題集を利用し、月 1回のテストを実施し、 進路指導の資料とする。 家庭との連携を図り、 制服を正して身だしな みを整えさせる。 個別面談を実施し、 進路希望の実現を図る。
		一般常識が身につくよう、定期的問題集を解く時間を作り、テストを行う。	C		
		授業時間の確保、チャイム前入室を心がける。	A		
	基本的な生活習慣の確立を図る。	計画的に服装指導を行い、規範意識の向上を図り、集団の一員であることを意識させる。	B		
		遅刻指導・チャイム前入室・着席を励行し、時間を守る意識を高める。 家庭との連絡を密にし、協力しながら問題改善に努める。	B A		
進路指導を充実させる。	個別面談を実施し、それぞれの生徒にあった進路指導を行う。 学校設定科目や小テストを活用し、将来の進路決定に向けて基礎学力、教養を身につけさせる	B B			
第3学年	基本的な生活習慣の確立を図る。	欠席・遅刻過多の生徒に対し家庭との連絡を深め、生活の改善を促す。	A	A	頭髪・服装に関して は帰宅指導の徹底が必 要である。遅刻指導の 方法を改善してより効 果のあるものとする必 要がある。
		定期的な頭髪・服装指導の実施の他に、日頃の注意を怠らず、生徒の規範意識を育成する。	B		
		生徒の授業態度や目上の者に接する態度・言葉遣い等が不適切であればその都度指導できるようにする。	B		
	進路の実現に努める。	総合的な学習の時間やLHRの時間を利用して職業観を育成し、自分に適した進路設計を立てさせる。	A		
		問題集を解かせたりテストを行ったりして一般常識を養わせる。 放課後や夏季休業中に面接の練習を行い就職試験や推薦入試に対応できるようにする。 放課後に課外授業を実施し、入試に対応できるようにする。	A A A		

評価基準 A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない